

学校HPはコチラ

**二 星**

唐桑中学校

令和５年度



校長室だより　№６

令和5年９月４日発行

人生は自分の望むようにはいかない

９月１日　全校集会より

自分の人生を振り返ってみると、物事が自分の思い通りにいったことはほとんどありません。おそらく皆さんも同じですし、誰でもそうだと思います。だからでしょうか、テレビなどのマスコミ報道を見ていると文句を言ったり、不平不満を口にしたりする人で、日本中があふれているように感じます。

ところが、同じように人生が思い通りにいかなくても、前向きに生活できている人もいる。

不思議だと思いませんか？　なぜ、出来事は同じでも、人によって人生が異なるのでしょうか？

今日は、このあたりを考えてみます。次の表を見てみましょう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **誰にでも起こる、****珍しくはない出来事** | **ポールの考え方** | **ジョンの考え方** | **サムの考え方** |
| **◇小遣い◇****１０００円欲しかったがもらえたのは７００円だった。** | **７００円しかもらえなかった。****ケチだなぁ。** | **７００円ももらった。****ラッキー！****よかったよかった。** | **７００円もらった。****次は１０００円もらえるように、できるだけ手伝いをしよう。** |
| **◇テスト◇****３００点を目標にしていたが、結果は２４０点だった。** | **２４０点だった……。****授業が悪い。****自分が点数を取れないのは先生の責任だ！** | **２４０点だった。****頑張ったなぁ、俺にしては満足だ。** | **２４０点だった。****次こそ３００点に届きたい。どうすればいいだろう。** |
| **◇部活動◇****自分は頑張りたいのに、周りがやる気を出してくれない。** | **腹が立つ！****あ～あ。俺ってかわいそう･･････。** | **仕方ない。****自分だけでも頑張っているから良いだろう。** | **どうしよう。****どうすればうまくいくか、先生に相談してみよう。** |
| **◇給食◇****大盛り食べたいのに、遅れたため少ししか残ってなかった。** | **自分のせいじゃない。****何で自分がこんな目に合うんだ！？****給食当番のせいだ！** | **がっかり。****良く噛んで食べればいいや。** | **今日は我慢しなきゃ。****明日は遅れずに早く並ぶようにしよう。** |
| **◇友人◇****自分を裏切った。** | **なにあの人？****バカじゃないの？****絶対に許さない！** | **まぁいいや。****気にしないでおこう。** | **どうしてだろう。****相手の立場に立ってみよう。これまでの自分を振り返ってみよう。** |

ここで初めに確認したいのは、どの人の考え方も、他人が否定するものではない、ということ。

人は、それぞれに人生における経験があり、これまでに受けた愛情や傷の深さもありますから、思考に違いが出るのは仕方ないところです。

ただ、気付いてほしいのは、ここに書いたことと同じような出来事は、これからいつでも誰にでも起こるし、そのときの考え方で「未来が確実に変わる」ということ。

この表を、それぞれの人について縦軸で見てください。次に何か「思い通りにいかない出来事」があったとき、それぞれの人がどのように考えるか、想像が付きますよね。

そうです。ポールのように、いつもイライラして人に責任を押しつけて生きていく人生と、

ジョンのように、物事にこだわりを持たず明るく生きていく人生と、

サムのように、常に前向きで次に活力をもって生きていく人生では、

大きく大きく「幸福感」が異なることが分かります。

人生は自分次第です。皆さんは、どのような人生を送りたいですか？誰でもポールのようにもなれるし、ジョンにでも、サムにもなれる。ぜひ、今日の話を、自分の考え方の参考にしてくださいね。

以上で、私の話を終わります。

**【朝会ではここまで。ここからは保護者の皆様へ】**

この資料は、今から１０～１５年前に、自分が学年主任をしていたとき、学年集会で話をするために作ったものです。実は今回、当時の資料を見返すうち、思いがけず分かったことがあります。

まず、ジョンの考え方。彼の思考には「人との関わりがない」ということに気付きます。

これは言ってみれば、「才能」のようなものかもしれません。ジョンのような人は周囲を明るく照らし、その場も自然と和やかになります。私はこういう人を「うらやましいなぁ。」と感じるものの、「自分はあんな風にはなれないなぁ。」と自分とは遠い存在として感じてしまう人種です。

一方、ポールやサムは「表裏一体」の考え方であり、「人と人との関わり」が多い。私は２人の考え方、どちらにも身に覚えがあります。両者とも自分と考えが近いなぁと感じますし、「心に潤いがなくなり、寂しさに押しつぶされそうになったときには、ポール側の思考に陥るだろう」とも思います。

そう、ポールの思考を見て気付くのは「心が渇ききっている」「孤独でたまらない」ということ。

こういう思考をする人の場合、例えば、小遣いを１０００円もらっても、次には相手に２０００円を求めるだろうし、もしテストで３００点取れたからといって、先生に感謝もしないでしょう。

「『自己受容』ができていないために、『自己肯定感』が低く、その心の空白を他者から埋めてもらうことを求めてしまうために、いつまでも心が乾き、満たされない」のです。こういう人は、「何をやってもうまくいかなければ相手の責任、何があっても不満ばかり。」本当に辛い人生です。

最後に、サムは「人間の可能性を信じている」ことが分かります。

親、相談相手、チームメイト、自分自身･･････。困難が目の前に立ちふさがったとき、サムはおそらく自分自身で、まずは挑戦してみるに違いありません。そして、自分の力ではどうしようもなくなったら、次に人に頼ることもできる。人と人とのつながりを信じて生きていく。幸せだなぁと思います。

心が満たされているからこそ、このように考えられるのでしょう。そして、人間の思考をこのように育てることができるのは、周囲の人の力が大きいと思います。さらに確実に言えるのは、このような思考こそが、これからの未来「Society5.0の社会」では大切になる、ということです。